

ものづくり体験講座「建築の仕事」

12月21日(火)、22日(水)の二日間、建築士の仕事をしている講師を学校にお招きしました。仕事のやりがいや楽しさ、講師が仕事に懸ける想いについて講話を聞きました。また、建築士という職業を知ることと、社会で働く上での必要な姿勢や資質について理解を深めました。講師の話真剣に聞き、話し合い活動やワークショップなど積極的に取り組むことができました。今回の講座を通して、職業や働くことについて考える機会にしてほしいと思います。



感想

- ・最初は模型みたいなものを作るのかと思っていた。家を設計するときデザインを考えるだけでなく、耐震性についても考えなければいけないことを知り、建築士の大変さを知った。土地の性質から調べるということは粘り強さが不可欠だと思った。
- ・骨組みの入れ方で、地震に強い家になるのだと驚いた。ものづくりの先生が作った家は、家の中から近くの川や崖が見えることがすごいと思った。南側に窓を配置して、災害時に窓から避難できるとなると感じた。
- ・今回学んだ建築方法を生かして地震に備えたい。立体模型の家を作ったり、パソコンの耐震シミュレーションを作ったりすることなどに興味がわいた。自分は建築が好きなので、とても楽しかった。
- ・買ってくれる人の幸せのために家をつくっていることに驚いた。倒れない家の仕組みについて深く知ることができた。家をつくる時に色々な発想が多くあるのだと思った。僕も相手の幸せのために働ける人になりたい。